

介護人材実態調査 集計結果

2023/04

滋賀県大津市

発送事業所数：472件

回収事業所数：151件

回収率：32.0%

【介護人材実態調査】

調査の目的

- ・ 介護人材実態調査では、介護人材の①性別・年齢構成、②資格保有状況、③過去1年間の採用・離職の状況、④訪問介護サービスにおけるサービス提供の実態などを把握します。
- ・ そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じて、地域内の介護人材の確保・サービス提供方法の改善などにつなげていくことを目的としています。

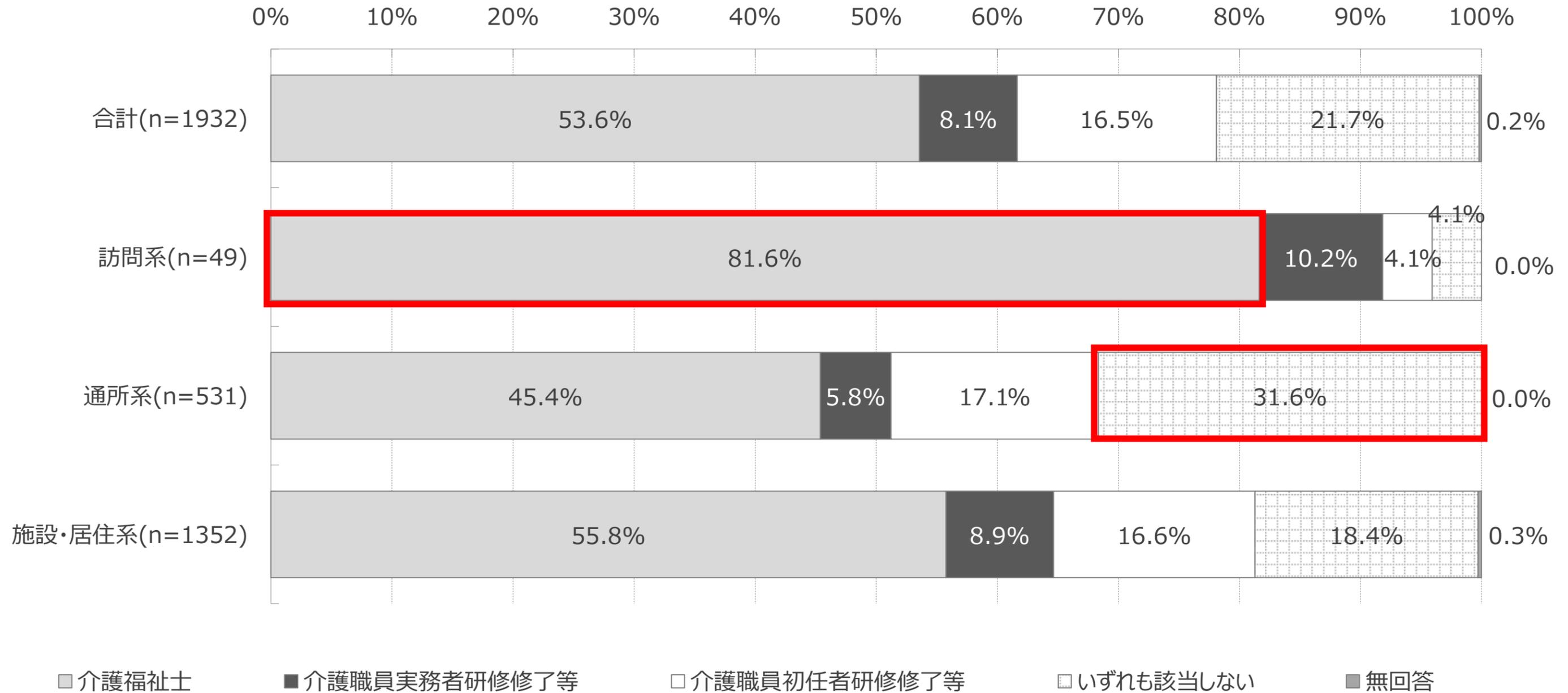
調査期間と方法

- ・ 調査期間：令和4年12月16日～令和5年2月17日
- ・ 調査方法 配布：メールによる配布
回収：メール及び電子申請による回収

調査の概要

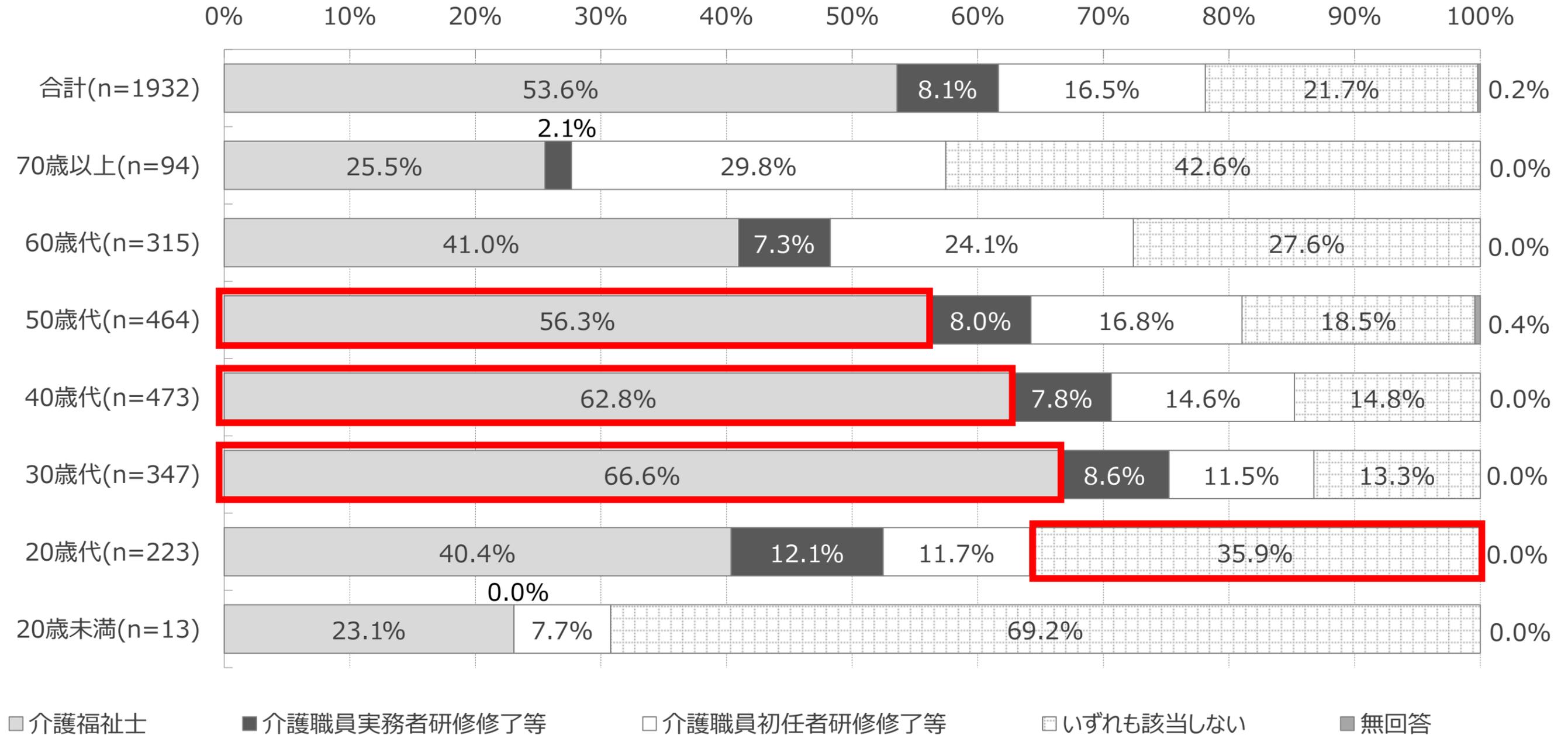
- ・ アンケートは、事業所、施設・居住系サービスの管理者の方などにご回答いただきます。
- ・ 調査では、各事業所等に所属する介護職員の数や、採用・離職の状況に加え、各介護職員の属性を個別にご回答いただくことで、多様なクロス集計を可能にしています。
- ・ また、訪問介護事業所については、別途に職員が回答する「職員票」を用意しています。これは、特に訪問介護について、個々の職員の身体介護・生活援助の提供状況を把握することで、サービス提供に見直しの余地がないか検討することを想定しています。
(例えば、買い物や調理・配膳などの提供を、地域のボランティア等が担うことはできないか検討するなど)

サービス系統別の資格保有の状況



「訪問系」で「介護福祉士」の資格保有者の割合が特に高く、「通所系」で「いずれも該当しない」割合が高い。

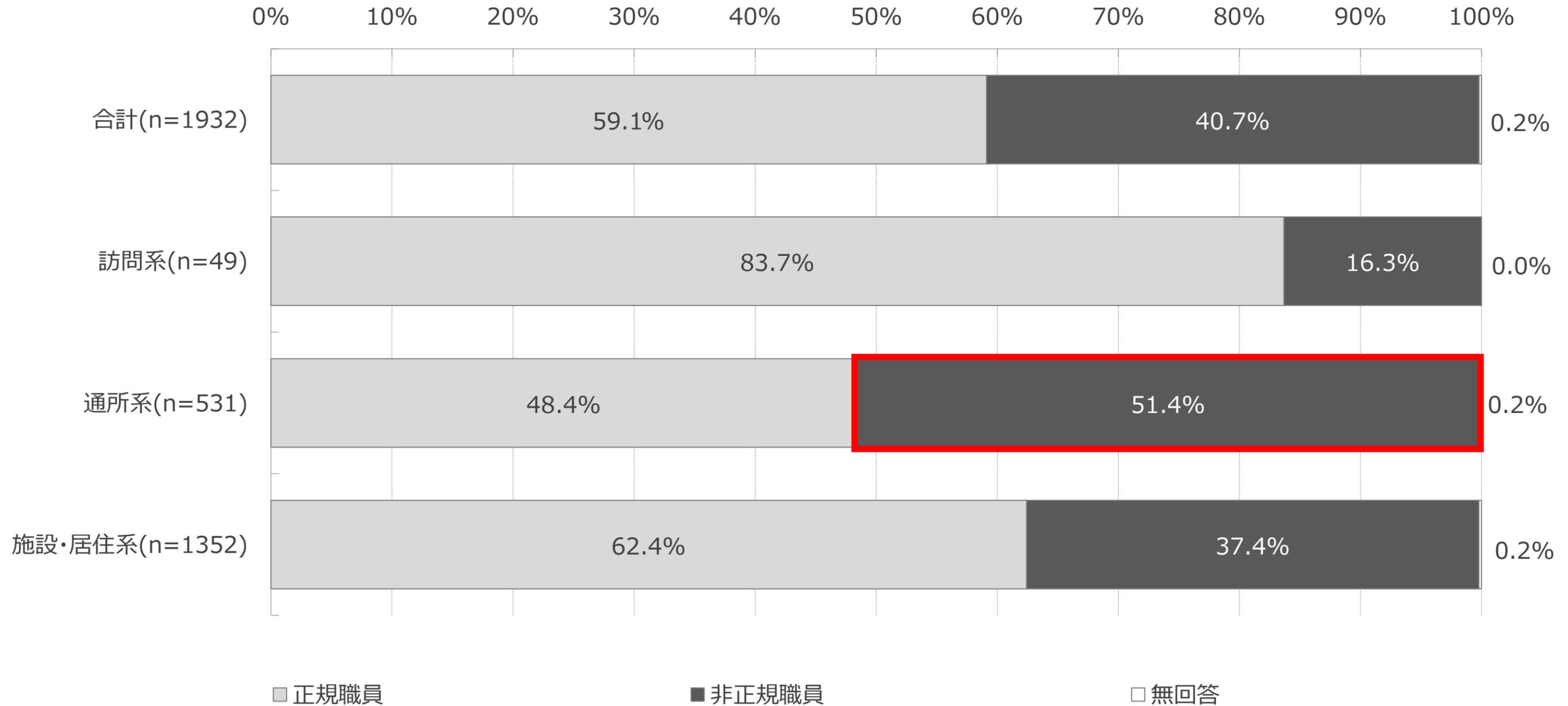
年齢別の資格保有の状況



「30歳代」から「50歳代」で「介護福祉士」の資格保有者の割合が高いが、「20歳代」では「いずれも該当しない」割合が35.9%と比較的高い。

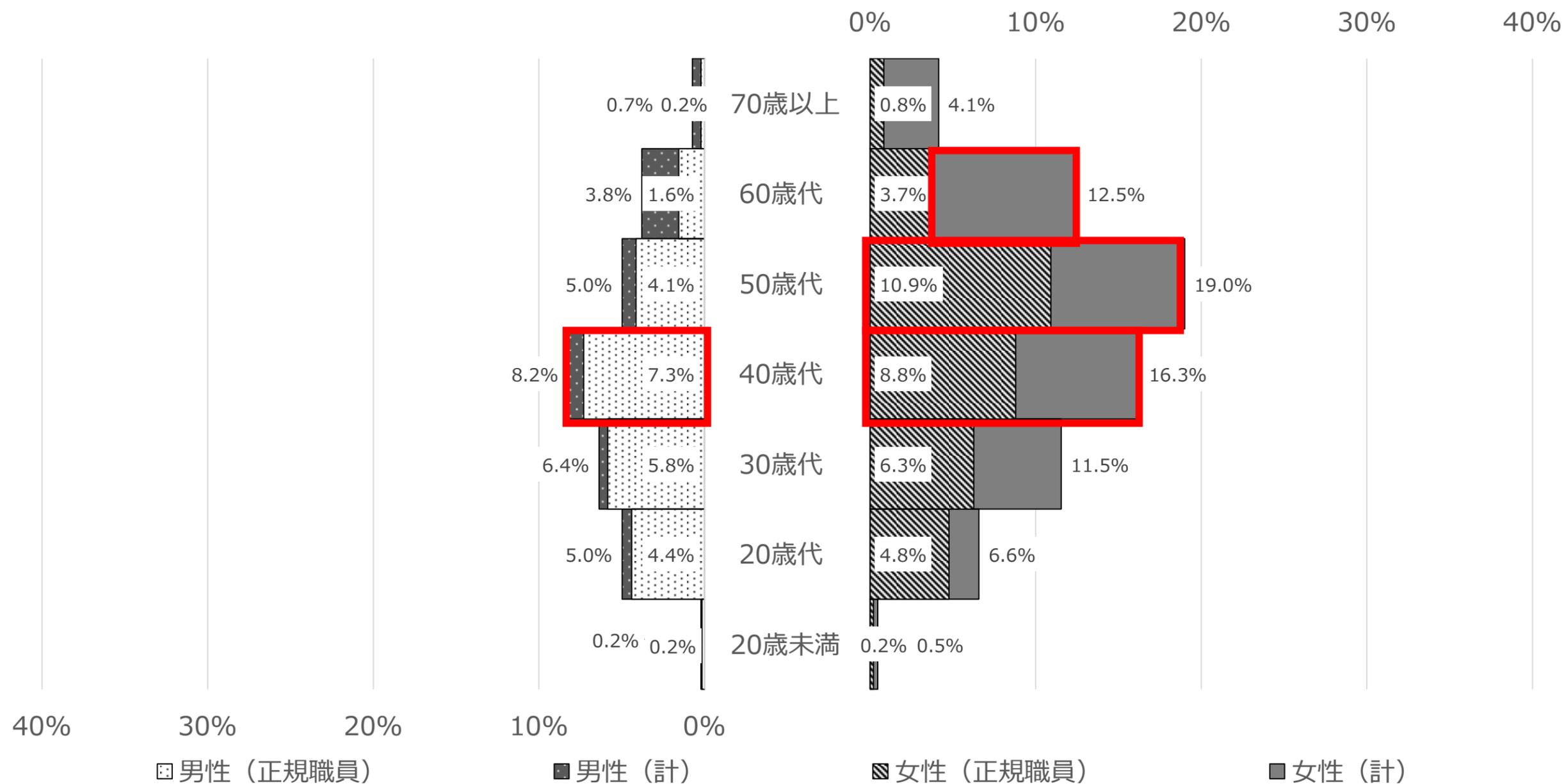
(注) 「合計」には年齢不詳の方を含めています。

サービス系統別の正規職員・非正規職員の割合



「通所系」では「非正規職員」の割合が半数を超え、比較的高くなっている。

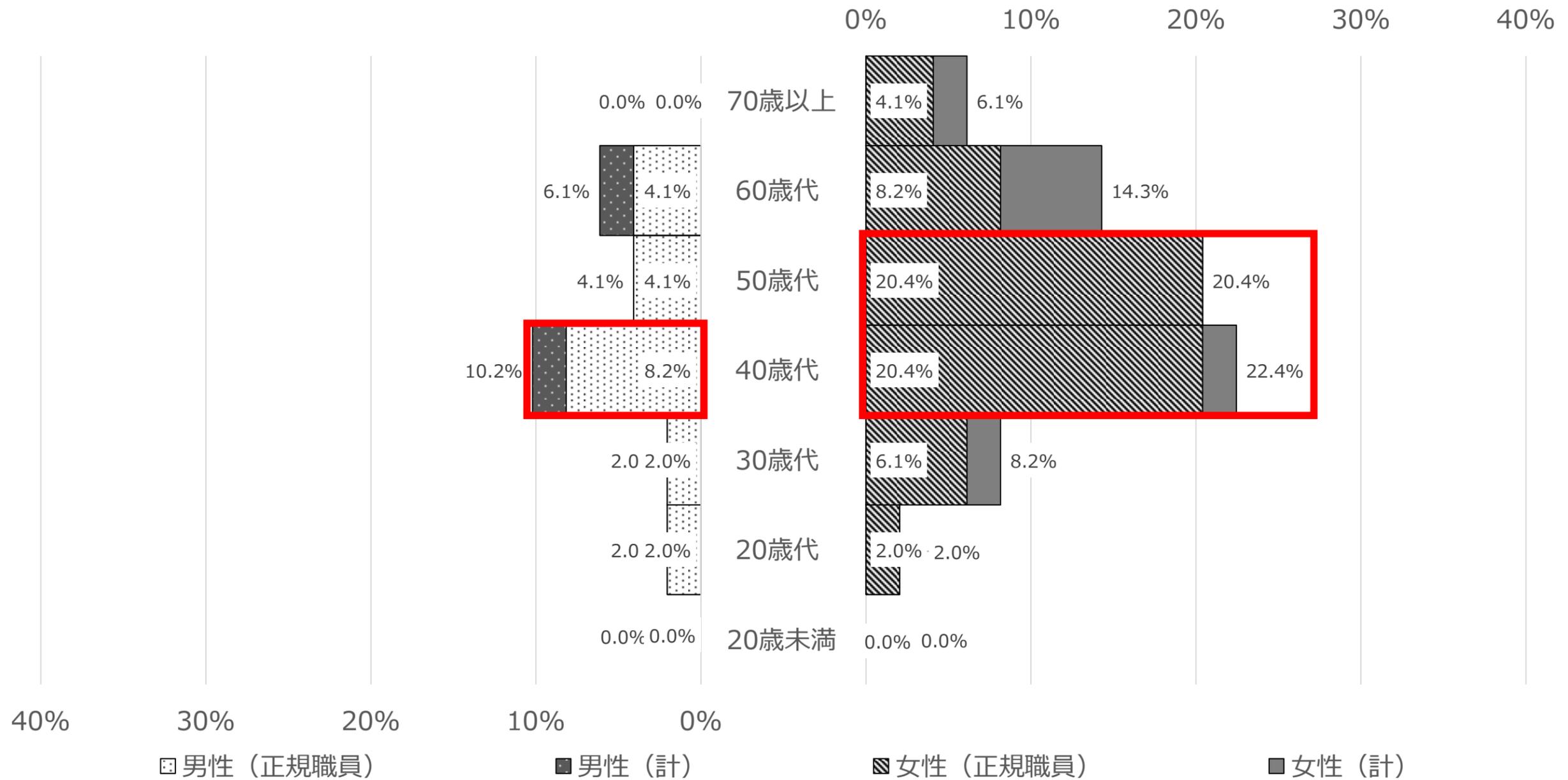
性別・年齢別の雇用形態の構成比（全サービス系統合計、n=1932）



全体で見ると、「女性」では「40歳代」、「50歳代」、「男性」では「40歳代」が多い。「60歳代」の「女性」では「非正規職員」の割合が高い。

(注) 分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

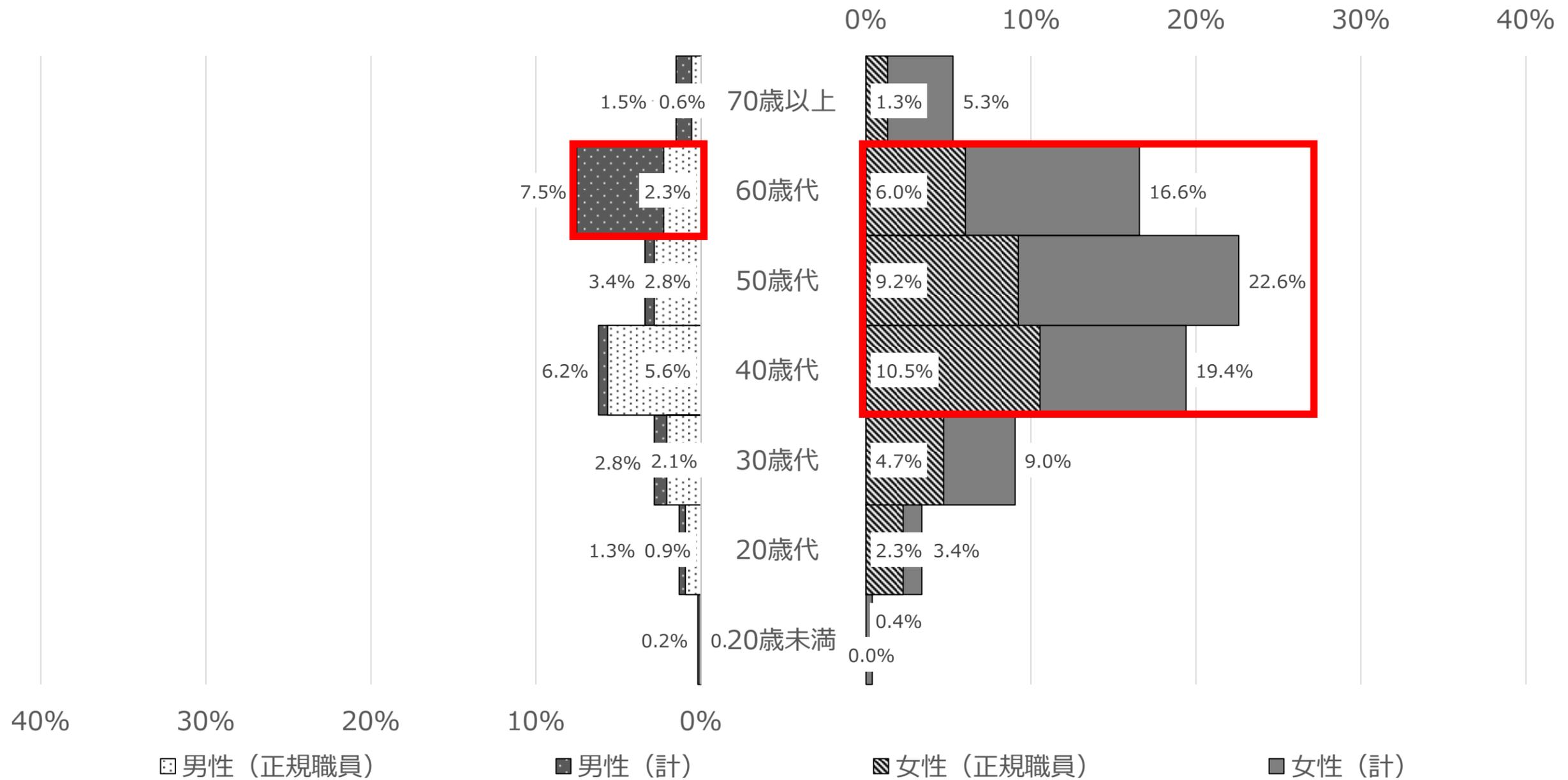
性別・年齢別の雇用形態の構成比（訪問系、n=49）



訪問系では、「40歳代」、「50歳代」の「女性」が多い。「男性」では「40歳代」が多い

（注）分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

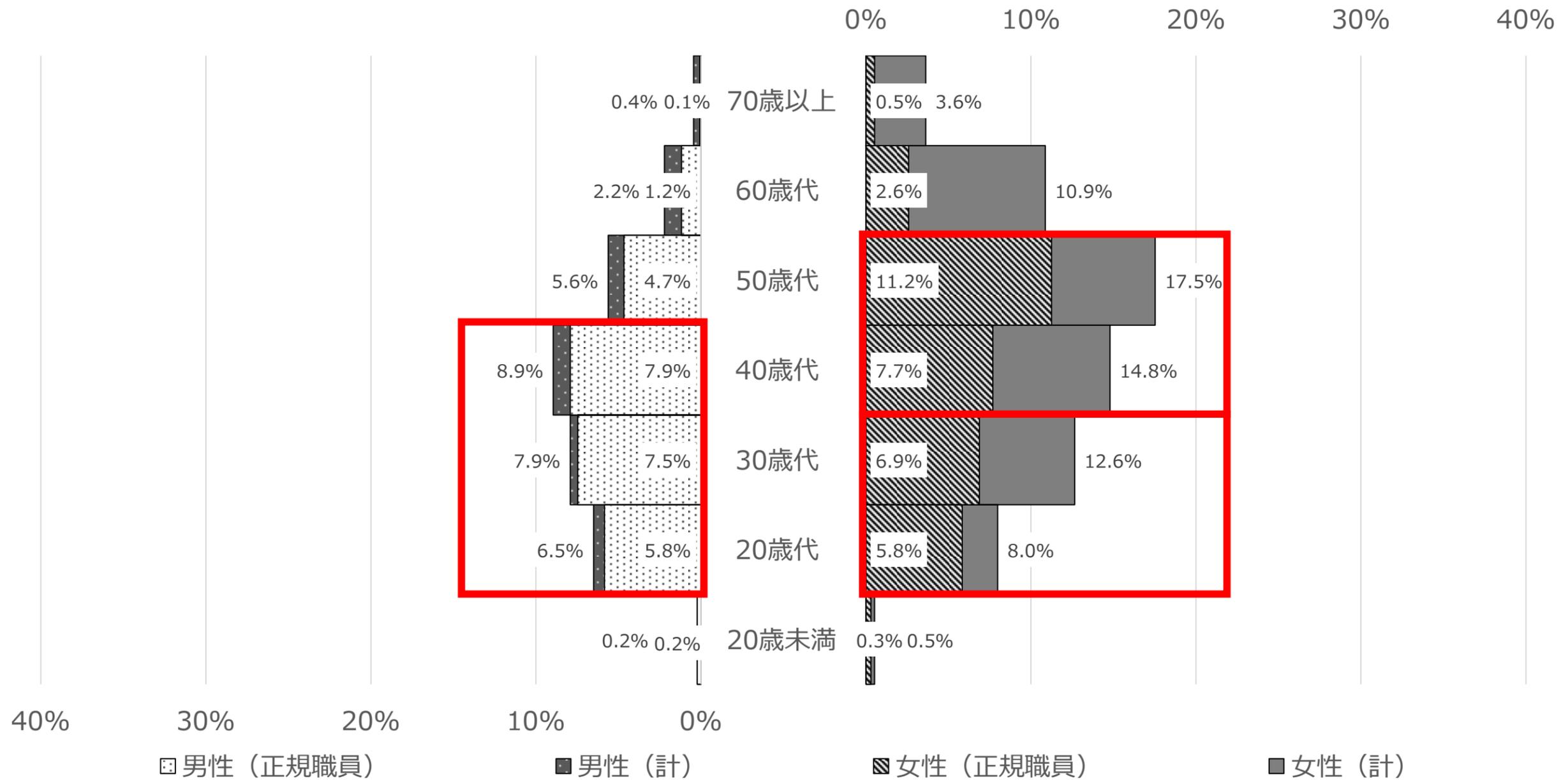
性別・年齢別の雇用形態の構成比（通所系、n=531）



通所系では、「40歳代」から「60歳代」の「女性」が多く、「非正規職員」の割合が高い。「男性」では「60歳代」の「非正規職員」の割合が比較的高い。

（注）分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

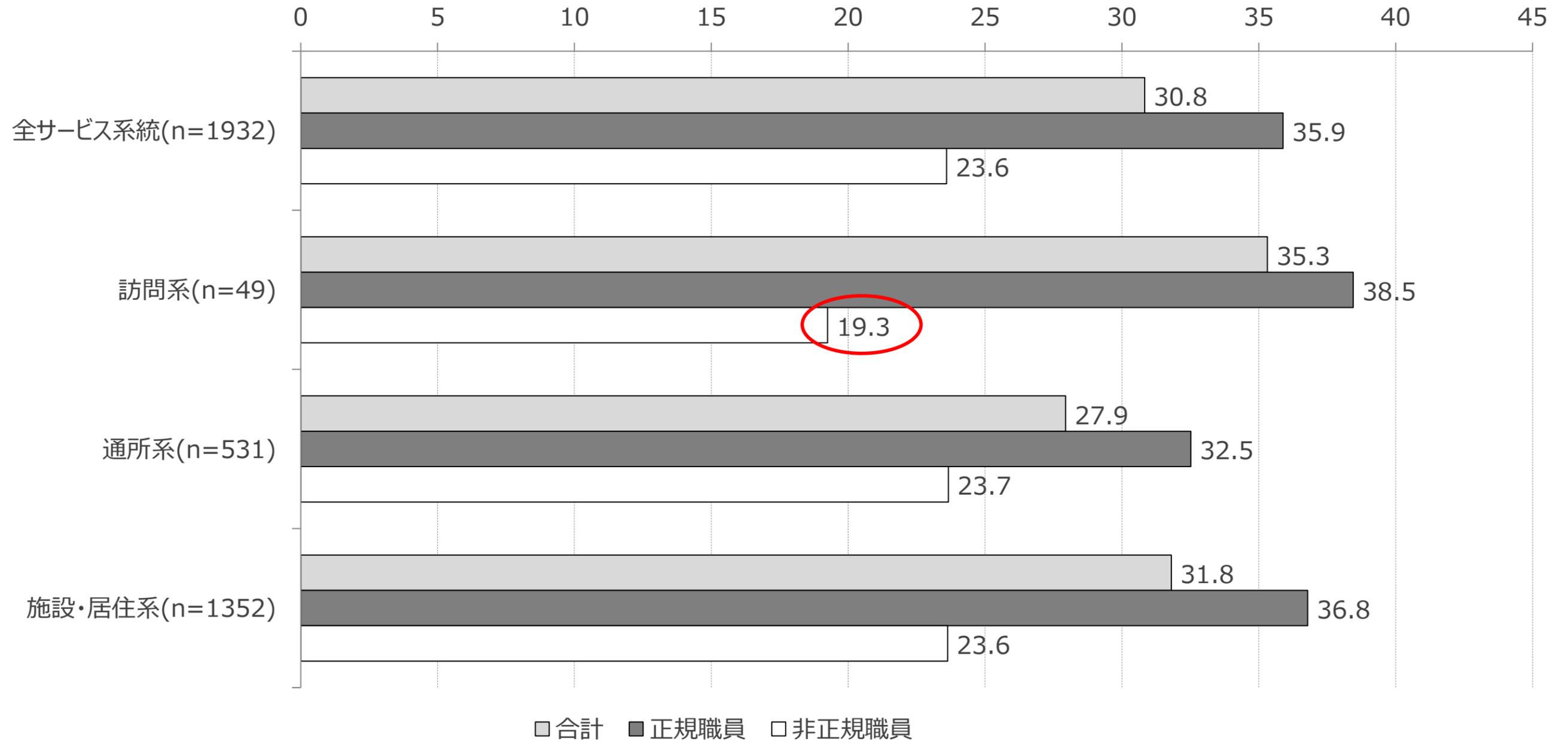
性別・年齢別の雇用形態の構成比（施設・居住系、n=1352）



施設・居住系では、「40歳代」「50歳代」の「女性」が多い。訪問系、通所系と比較すると、男女ともに「20歳代」から「40歳代」の若い年代の職員が比較的多い。

(注) 分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

職員1人あたりの1週間の勤務時間（単位：時間）



「訪問系」で、「正規職員」と「非正規職員」の勤務時間の差が比較的大きい。

(注) 「合計」には雇用形態不詳の方を含めています。また、「全サービス系統」にはサービス系統不詳の方を含めています。

介護職員数の変化

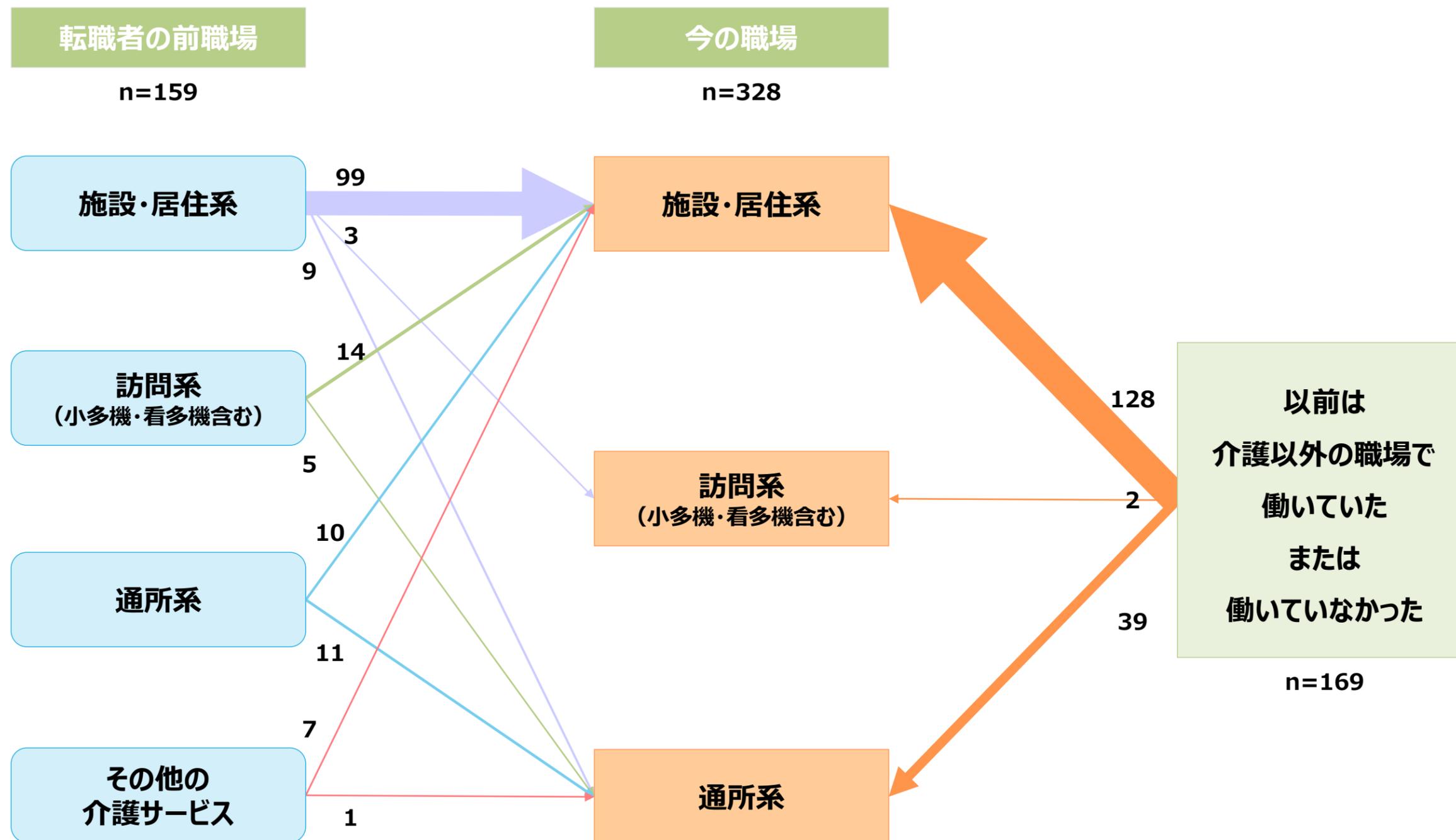
サービス系統 (該当事業所数)	職員総数			採用者数			離職者数			昨年比		
	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
全サービス系統(n=154)	1354人	1153人	2507人	213人	294人	507人	170人	230人	400人	103.3%	105.9%	104.5%
訪問系(n=39)	196人	317人	513人	28人	62人	90人	22人	33人	55人	103.2%	110.1%	107.3%
通所系(n=59)	260人	310人	570人	54人	67人	121人	41人	51人	92人	105.3%	105.4%	105.4%
施設・居住系(n=56)	898人	526人	1424人	131人	165人	296人	107人	146人	253人	102.7%	103.7%	103.1%

前の職場が介護事業所である職員の前の職場の場所

前の職場の場所	現在の職場							
	全サービス系統		訪問系		通所系		施設・居住系	
合計	182人	100.0%	3人	100.0%	30人	100.0%	149人	100.0%
同一市区町村	115人	63.2%	3人	100.0%	24人	80.0%	88人	59.1%
他の市区町村	63人	34.6%	0人	0.0%	6人	20.0%	57人	38.3%

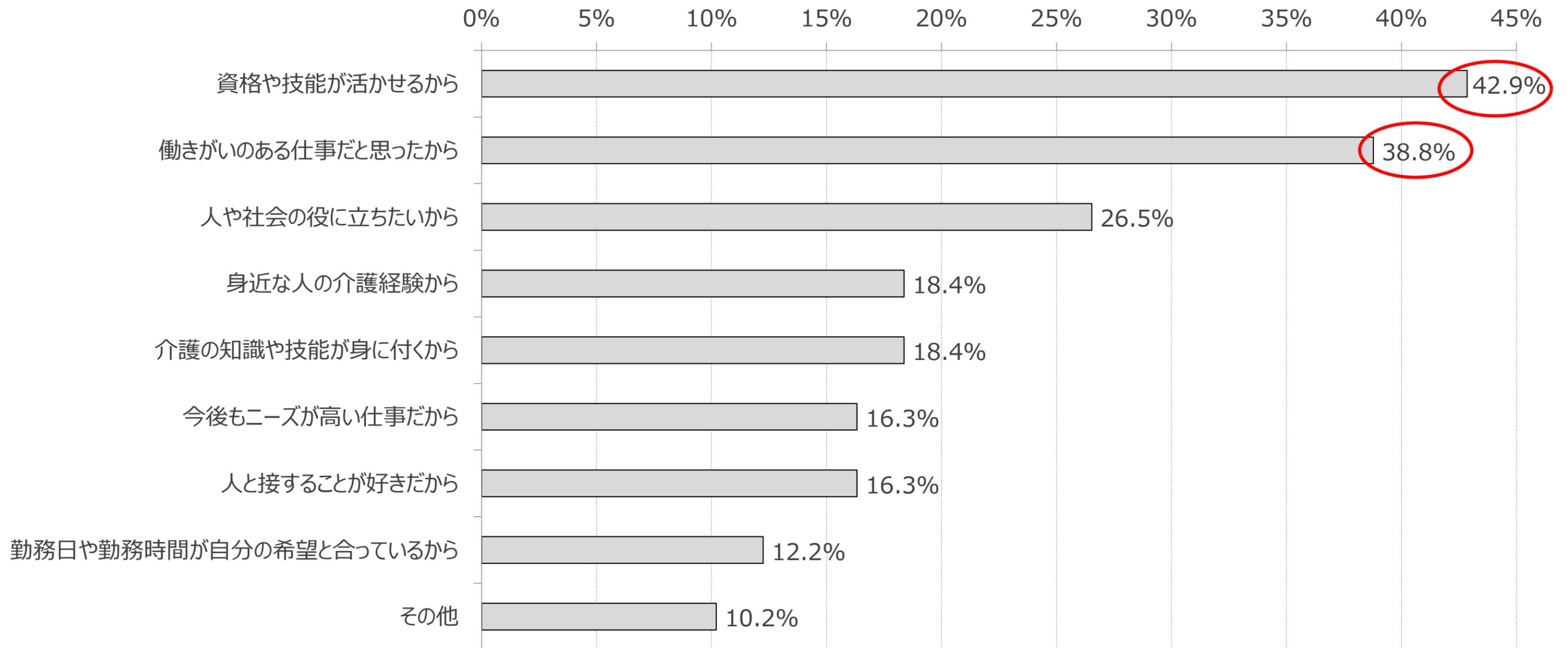
(注) 上表・下表の「全サービス系統」にはサービス系統不詳の事業所を含めています。また、下表の「合計」には前の職場の場所が不詳の方を含めています。

過去1年間の介護職員の職場の変化 (同一法人・グループ内での異動は除く)



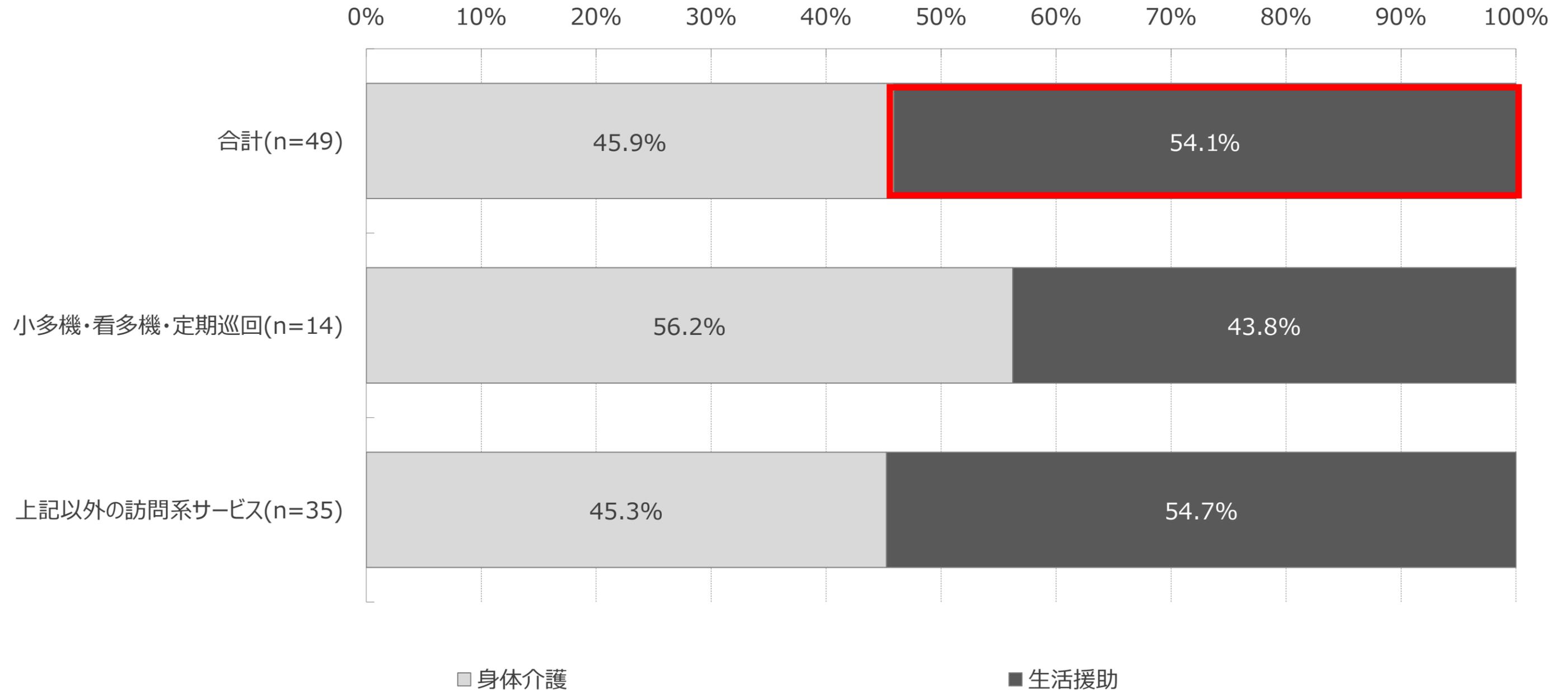
(注) 上記の分類が可能となる全ての設問に回答のあった方のみを集計対象としています。

介護職員になられた理由（訪問系、n=49）



「資格や技能を活かせるから」、「働きがいのある仕事だと思ったから」が4割前後と多い。

訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）

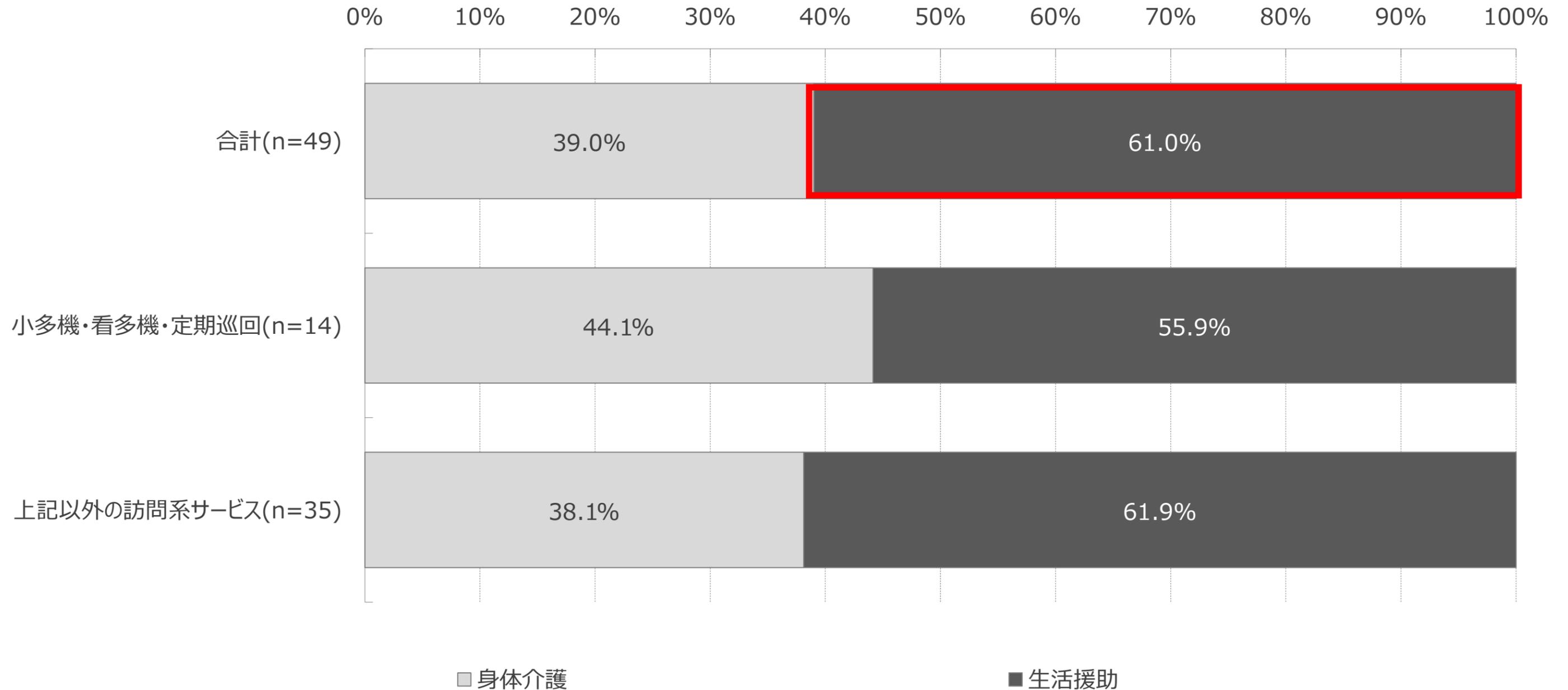


介護給付では、サービス提供時間の54.1%が「生活援助」となっている。

(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。

(注2) 「合計」にはサービス種別不詳の方を含めています。

訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）

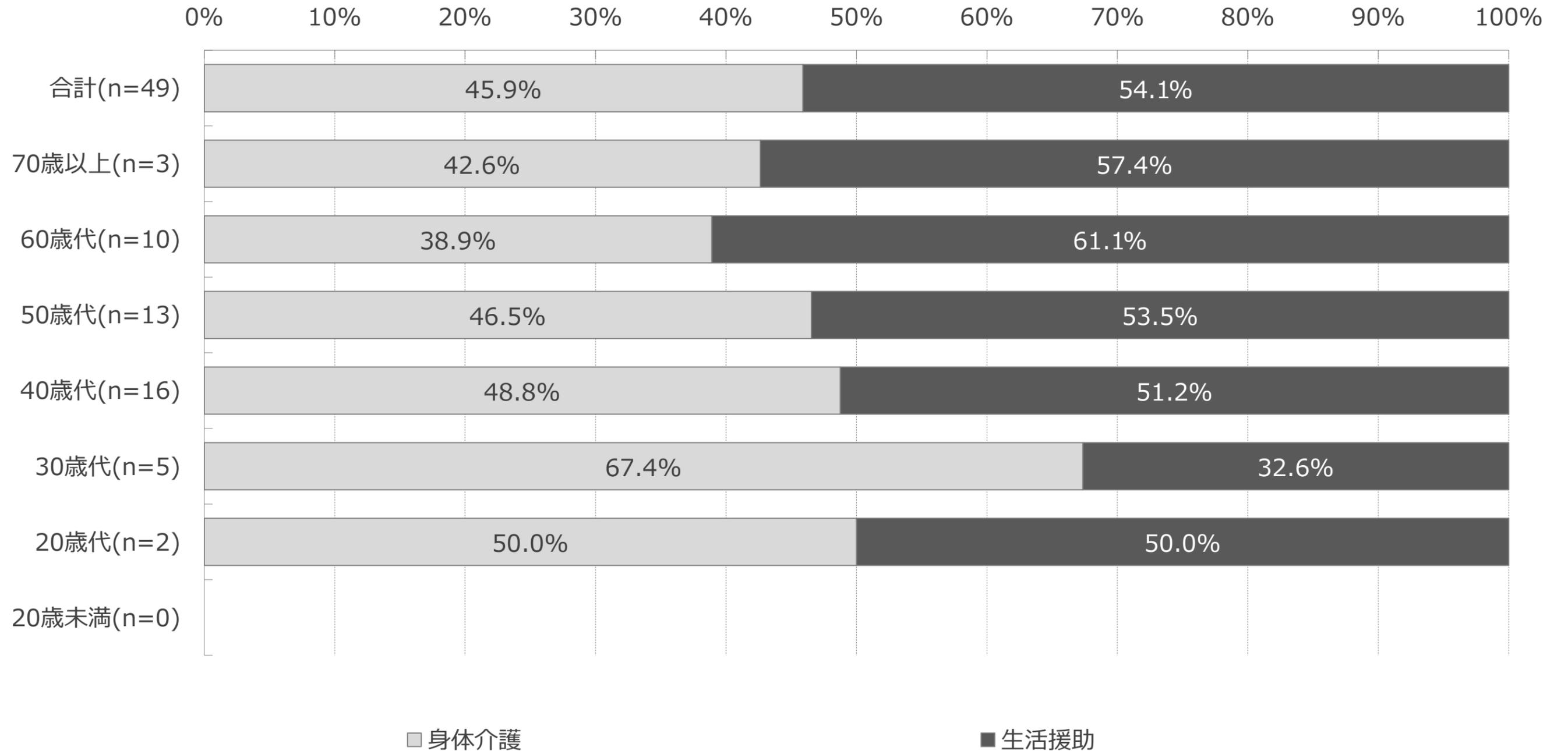


予防給付・総合事業では、サービス提供時間の61.0%が「生活援助」となっている。

(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。

(注2) 「合計」にはサービス種別不詳の方を含めています。

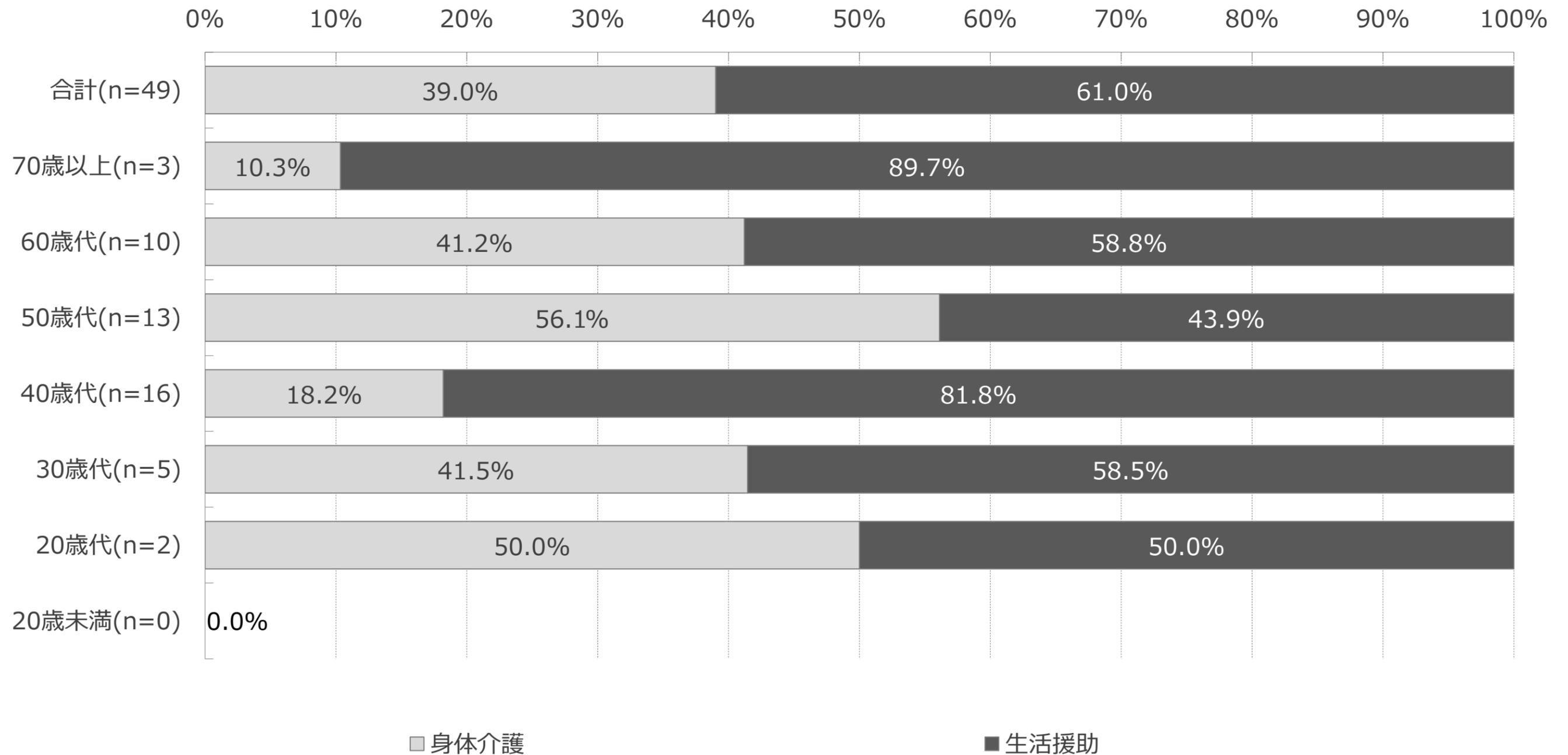
訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）



(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。

(注2) 「合計」には年齢不詳の方を含めています。

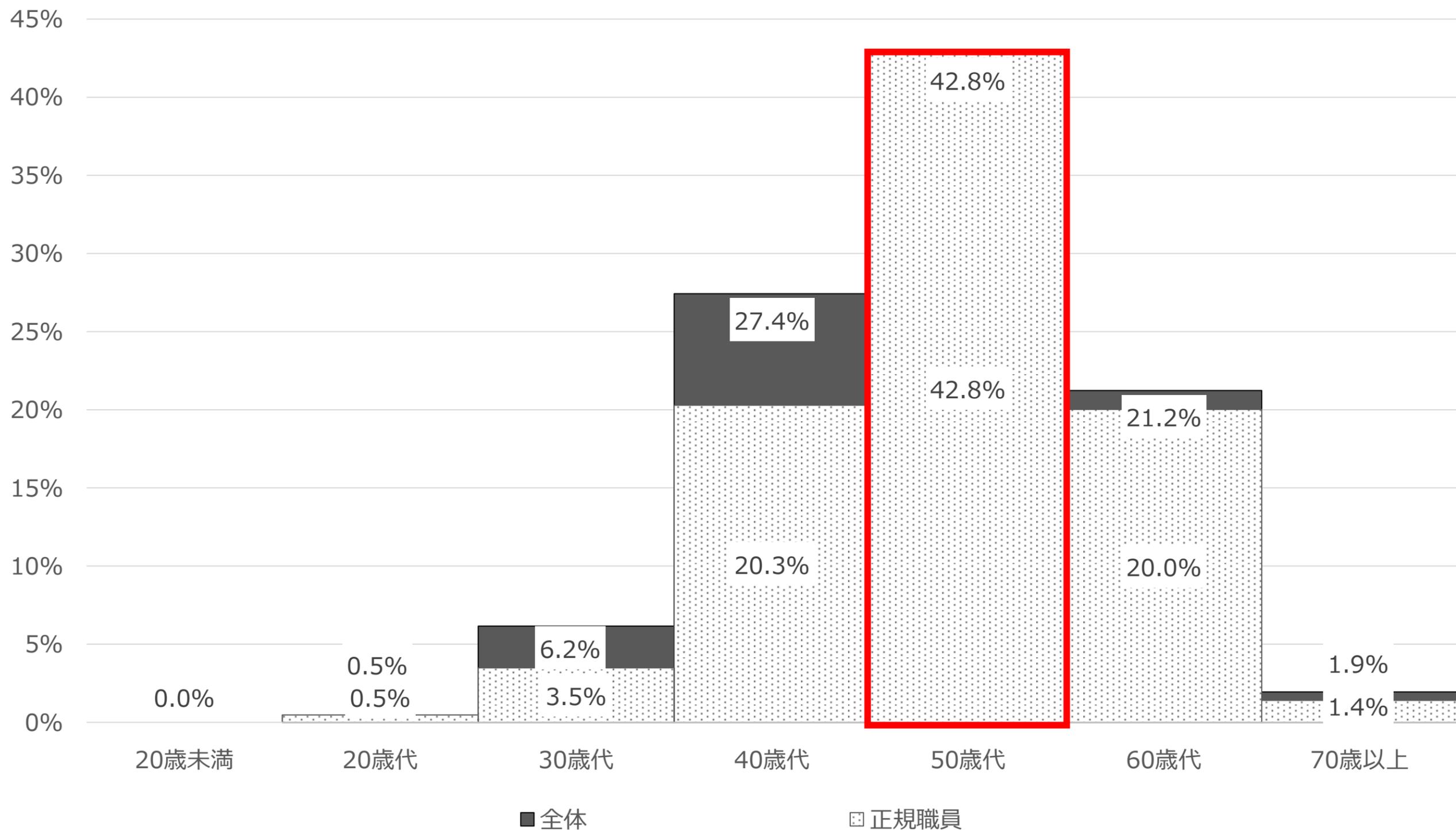
訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）



(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。

(注2) 「合計」には年齢不詳の方を含めています。

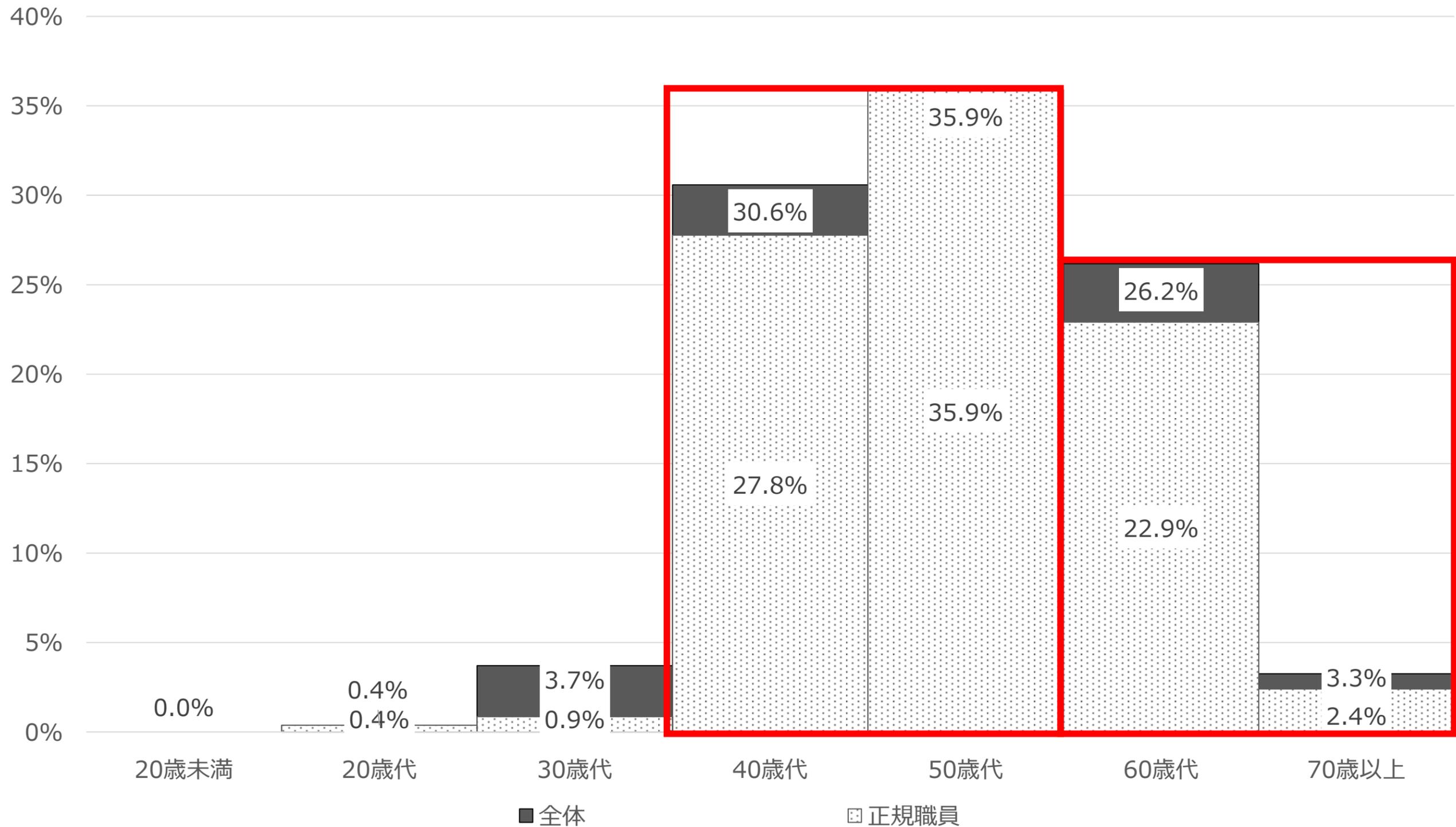
職員の年齢別の訪問介護提供時間（身体介護）



身体介護の提供時間の4割強を「50歳代」が担っている。

(注) 全回答者の総提供時間に占める年齢階級ごとの提供時間の構成比を示しています。

職員の年齢別の訪問介護提供時間（生活援助）



生活援助の提供時間の6割以上を「40歳代」、「50歳代」が占め、約3割を「60歳代」以上が担っている。

(注) 全回答者の総提供時間に占める年齢階級ごとの提供時間の構成比を示しています。